

舞浜第4排水区 大規模雨水処理施設整備事業計画（浦安市）

(様式1)

項目	内容・施策等
選定理由	<p>舞浜地区は、旧江戸川河口部に位置しており、海面埋立事業により造成され、その後埋立事業者により整備された下水道施設について、経年の圧密沈下に加え、東日本大震災による影響で地盤沈下がさらに進み、1～1.5m程度沈下したと推測されている。</p> <p>令和3年3月の集中豪雨においても、国道357号舞浜交差点付近においても、大規模な道路冠水が発生したことから、早急な冠水対策が急務である。</p> <p>なお、舞浜地区は過去10年間に10回以上の道路冠水実績があり、当該冠水の延べ冠水面積は2.8ha、冠水深は最大50cmである。</p> <p>そこで、浦安市では令和3年3月に策定した雨水管理総合計画により、対策地区の優先度を設定し、段階的整備計画における短期計画は舞浜地区となっており、雨水貯留管の整備（10年確率 60mm/h）により、早期の冠水被害軽減を図ることとしている。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画における対象降雨：60mm/h（1/10年確率降雨） <p>なお、照査降雨に対しては、施設の効率的な運用等を考慮し、減災対策等を踏まえたソフト対策を加えて実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標とする理由： <p>「下水道施設計画・設計指針と解説」によると、21年間観測した降雨データを用いた計算式により確率年が5～10年程度の対策を行うの望ましいとされているため。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハード整備による整備水準の目標：60mm/h（1/10年確率降雨） <p>② 目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> i) 生命の保護の観点：当該排水区に存在する要配慮者利用施設2箇所の床上浸水を防止する。 ii) 都市機能の確保の観点：機能保全水深を5cmと設定する。 iii) 個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水被害を軽減する。 iv) その他：特になし。 <p>③ ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> i) ハード対策 <p>施設整備により、60mm/h（1/10年確率）の降雨において、冠水被害を防止することを目的とともに、公共施設の新設・改修や宅地開発事業等に伴う雨水貯留施設設置の推進等を行う。</p>

	<p>ii)ソフト対策及び自助</p> <p>施設整備で対象とする降雨量を超える降雨において、下水道管理者による集中管理システムによる雨量局・水位局・マンホールアンテナ・吐ロゲート開閉状況の監視、内水ハザードマップ作成・公表などの情報提供、地域住民等による止水板設置及び側溝・集水桝の清掃など、それぞれの主体が対策を実施することにより、被害をできるだけ小さくする。</p>
--	--

項目	内容・施策等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ・有 (令和2年10月策定済み) ・策定予定 			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・雨水貯留管の整備(貯留量:4,000m ³ 、内径:φ2600mm、延長:760m)、及び付属するポンプ施設、導水管、接続管、集水桝等の設備一式
			下水道管理者以外	・舞浜公園用地を活用したオンサイト貯留(V=84m ³) ・宅地開発事業等に伴う雨水貯留施設設置の推進等
		ソフト対策	下水道管理者	・集中管理システムによる雨量局、水位局、マンホールアンテナ、吐ロゲート開閉状況の監視 ・市民への雨量局、水位局の情報提供
			下水道管理者以外	・内水ハザードマップの作成・公表
	自助	ハード対策		・該当なし
		ソフト対策		<ul style="list-style-type: none"> ・止水板等設置の推進 ・側溝・集水桝の清掃 ・防災訓練への参加 ・学校等における防災教育 ・市民による「マイ・タイムライン」の作成

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

* 下水道浸水被害軽減総合事業に該当する場合、既存の施設調書を別途添付すること

年度計画 (百万円)

名称	令和4年度	令和5年度	計
雨水貯留管及び付属設備一式	306	1,132	1,438
計	306	1,132	1,438

備考) 事業内容に位置づけた施設について年割額(事業費)を記述。整備済のものは含めない。

※上記の、年度計画は、市の負担額の合計です。

※国と市の事業費合計額は、令和3年から令和5年度までで2,100百万円となります。

項 目	内 容・施 策 等
整備効果	<p><事業評価の内容></p> <p>被害額：150.3百万円（年平均被害軽減期待額）が削減される。</p> <p>B/C：1.53</p> <p><その他定量的な効果></p> <p>都市浸水対策達成率は100%であるため、雨水貯留管の整備による+10mm/hの強化をすることで、降雨対策規模を50mm/h（1/5年確率）から60mm/h（1/10年確率）に能力アップを図る。</p> <p>ソフト対策、自助の整備効果等：</p> <p>内水ハザードマップによる情報提供等を行い、被害の最小化を行う。</p>
放流先河川との調整状況	<p>・放流量に変更が無いことを河川管理者と協議済</p> <p>（晴天時、雨水貯留管内の雨水をポンプ施設により既設雨水管に放流するため）</p>
その他	<p>・本事業は、国土交通省関東地方整備局との基本協定等を締結し、国（道路事業）と市（下水道事業）との協同事業で、詳細設計及び施工の実施主体は国が行い、市は市負担額を国に支払うものです。</p> <p>・負担額比率は、国と市それぞれの流域における溢水量の応分負担を基準とし、国：市＝20.5%：79.5%となります。</p>

浦安市舞浜第4排水区 大規模雨水処理施設整備事業計画 (S=5,000)

